

● クレアチニン(腎機能／血液検査)

● クレアチニン(血清クレアチニン) <Cr>

意義	<ul style="list-style-type: none"> 腎尿細管で再吸収されず、ほぼ尿中に排泄される 腎外性因子の影響をほとんど受けないことから腎機能の指標として有用
基準範囲*	男性：0.7～1.2mg/dL 女性：0.6～1.0mg/dL
異常値で疑う疾患	<高値> GFRの低下（慢性腎炎、腎不全、心不全、前立腺肥大、脱水など） 筋肉量の増加など <低値> GFRの上昇（初期の糖尿病性腎症、妊娠など） 筋肉量の減少、肝障害など
服薬指導に活かせるポイントなど	<ul style="list-style-type: none"> 腎排泄の割合が高い薬剤の場合、腎機能に応じた用法用量の調節が必要 トリメトプリム、シメチジン、スピロラクトン、プロベネシドの使用では、クレアチニンの尿細管分泌が抑制され、血清クレアチニン濃度が上昇する

GFR：糸球体濾過率